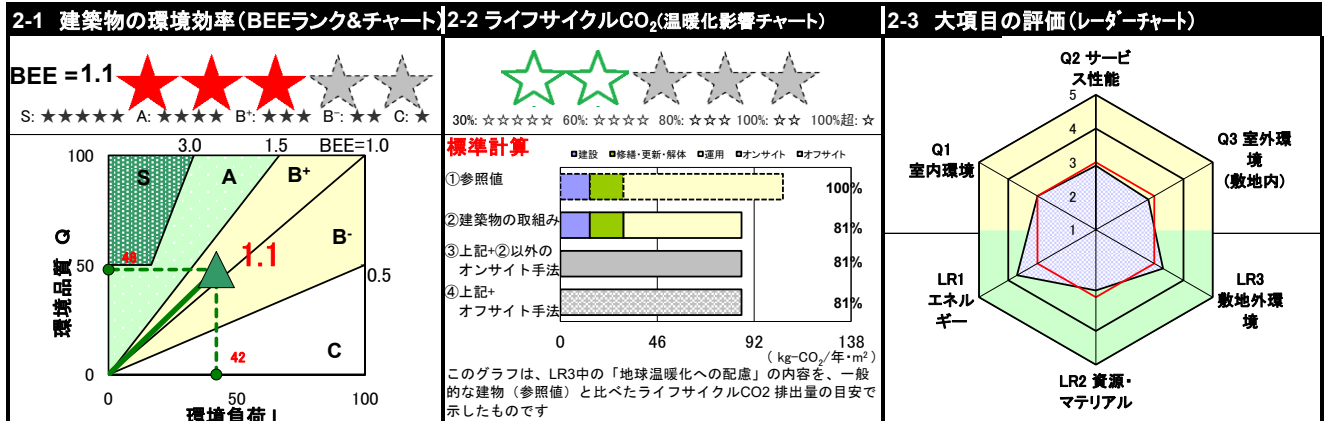
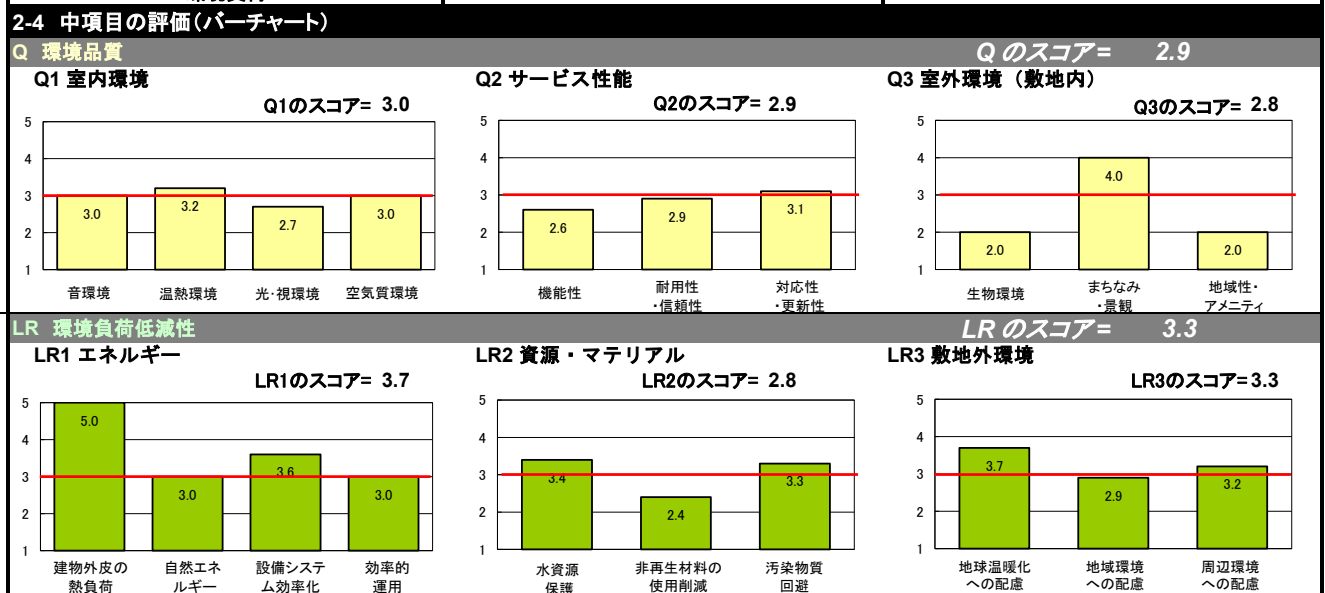


CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2016年改訂、省エネルギー・省資源・省CO2削減の観点から改訂) 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤田医科大学ばんだね病院管理棟	階数	地上8F
建設地	名古屋市千川区尾頭橋三丁目1102番3、1111番	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域、都市機能誘導区域、緑化地域	平均居住人員	218 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年2月 予定	評価の実施日	2026年9月1日
敷地面積	713 m ²	作成者	
建築面積	397 m ²	確認日	2026年9月1日
延床面積	2,968 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
藤田医科大学ばんだね病院建築群の一部として、既存病院との連携を図る管理棟を計画し、病院機能の効率化と快適な執務空間の実現に配慮した。周辺環境との調和や緑化を図るとともに、環境負荷低減に配慮した建築計画とした。		
Q1 室内環境 ・各室で冷暖選択可能な空調設備を使用することで、温暖環境に配慮した計画とした。 ・Low-E複層ガラスと断熱性能の高い吹付硬質ウレタンフォームにより高い断熱性能を確保した。	Q2 サービス性能 ・フリーアクセスフロアを採用し、将来のレイアウト変更や設備更新に対応しやすい計画とした。 ・内装仕上げ材にはF☆☆☆☆材料を採用し、空気質環境に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地南側は外壁をセットバックしてゆりのある外部空間を確保するとともに、緑化を行うことで、歩行者が緑を感じられる設えとしています。
LR1 エネルギー ・LED照明及び照明の制御(人感センサー、タイムスケジュール等)、高効率変圧器、高効率空調機等の高効率設備機器を採用することで、エネルギー消費量の低減を図った。	LR2 資源・マテリアル ・節水型衛生器具を採用することで、水資源保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・敷地内に燃焼設備はなく、大気汚染物質を排出しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

藤田医科大学ばんだね病院管理棟

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.6
LR1	エネルギー	3.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.7
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.6



2. 自然共生

評価点 = 1.9



3. 循環型社会

評価点 = 2.7



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。